

奈良県と中華人民共和国・清華大学との 意見交換会

(2019年8月22日)



(於：中華人民共和国・清華大学)

【意見交換会における主な発言】

奈良県からの発言

- ・ 交流のテーマは、美術、文化、考古学等、いろいろなテーマが考えられる。奈良にはそれぞれの分野の専門家がいるので、テーマを決めて交流を広げていきたい。
- ・ 奈良には中国からいただいたものを大切にする文化がある。文化が伝播する過程で、中国と奈良には似たような歴史文化が遺っている。例えば、それらを並べて展示したり、それらがどのような経緯で伝播してきたかを研究したりしてみても面白いように思う。
- ・ 学生交流だけでなく、知的な学者間の交流、文化のリーダーの交流が重要だと思ふ。

清華大学からの発言

- ・ 清華大学でも伝統文化の伝播を大変重視しており、こうした分野でも奈良県と交流・協力できればと思う。
- ・ 中国の伝統的な歴史文化や建築物が、中国ではもう見られないようなものも含めて、奈良県には数多く遺されているので、実際に奈良県を訪問すれば、それらを見ることができる。
- ・ 今回の訪問をきっかけに、大学交流、学生交流、人的交流が広がることを期待している。